

# 幼児教育の質の向上のためにそれぞれが何をすればいいの？

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培っていく重要な役割を担っています。そのためには、様々な「ひと・もの・こと」と直接ふれあう必要があり、幼児教育の関係者ばかりではなく、より多くの協力者が必要です。



## 県民・地域

### 島根県民全員で、島根の幼児を育てましょう

- 幼児教育の重要性や幼児期に求められる教育についての理解促進
- 地域資源を活用した教育・保育活動の理解
- 幼児教育への参加



## 保護者

### 幼児教育施設などと連携して子どもの心身の調和のとれた発達を図りましょう

- 子どもの教育の第一義的な責任
- 愛着形成を基盤とした子どもの基本的な生活習慣の定着や自立心を育成
- 幼児教育施設や保護者同士での連携と教育・保育活動への参加



## 幼児教育施設

### よりよい教育のため研修等に参加し質の向上を図りましょう

- カリキュラム・マネジメントの実施
- 幼児教育施設内外の研修の計画的な実施
- 保護者などへの情報提供や家庭教育支援
- 幼小連携・接続の積極的な取組

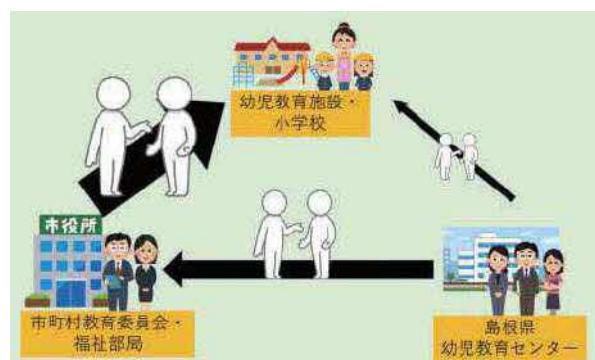


## 市町村

### 幼児教育施設や小学校の研修を支援しましょう

市町村と県は、それぞれの強みを活かし、幼児教育の質の向上のための支援を、相互に連携して行います。

- 市町村内の幼児教育の質の向上に係る体制の構築、研修の開催
- 市町村内の幼児教育施設などへの直接的な指導・助言
- 市町村内の小学校への円滑な接続が図れる体制の構築
- 県全体の幼児教育の質の向上への機運の醸成
- 県全体の幼児教育施設の教育の質の向上を図る支援体制の強化
- 県全体の実態把握・調査・研究とそれを活用した効果的な研修の実施



## 県



# 島根県の幼児教育で、今後重点的に取り組んでいくことは？

1

## 地域資源を活用した教育・保育



### 求められる教育・保育

地域の「ひと・もの・こと」を活用した活動により、興味・関心、感覚、思考の幅を広げたり、様々な人や地域への愛着を持ったりすることができる教育・保育活動の実施

- 島根県の各地域にある豊かな地域資源を活用
- 地域の「中」にどっぷり浸かり、様々な感覚を使って地域を体験する活動の実施
- 「遊びの循環」が見られる活動を保育者が計画、実施

### 研修内容

- 地域や子どもの実態に応じた環境の設定や整備の仕方などについての研修の実施
- 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育・保育の優良な実践の把握、紹介
- 小学校以降の「ふるさと教育」などの実践例や取組例の紹介



高齢者に自分達の活動を喜んでもらうことで、自己有用感を高めることができます。

2

## 幼小連携・接続



### 求められる教育・保育

子どもの発達や学びの連続性を確保し、体系的な教育を組織的に行うことができる幼児教育施設と小学校の円滑な連携・接続に関する取組の実施

- 幼児教育施設と小学校の相互理解のもとに接続期の教育課程などを編成
- 子どもの交流において双方の目的を明確化し共通理解を促進
- 幼児教育施設と小学校が連携し、保護者に対し幼小連携・接続の必要性を説明

### 研修内容

- 幼小接続のための方法などについて理解を深める研修の実施
- 幼小連携・接続研究事業で得られた知見などを集合型研修を中心に紹介



小学校の業間に訪問し、日常の小学校生活に慣れることができます。



### 3

## 特別な配慮を必要とする子どもへの対応



### 求められる教育・保育

特別な配慮を必要とする子どもへの、一人一人に応じた指導や支援によって発達を促進する教育・保育活動の実施

- 子どもの持つ困難さの背景に基づく施設全体での対応
- 「個別の教育支援計画」の作成などによる小学校への移行
- 市町村、関係諸機関の連携による対応の強化

### 研修内容

- 特別な配慮を必要とする子どもの対応の仕方についての研修の実施
- 小学校への移行についての基礎的な理解を深める研修の実施
- 市町村や専門機関など関係諸機関の具体的な連携手法についての紹介



特別支援学校のセンター的機能と市が連携し、特別な配慮を必要とする子ども、保護者を支援しています。

### 4

## 家庭等における子育てへの支援



### 求められる教育・保育

幼児教育施設と家庭が連携し、子どものよりよい発達を促進するための、保護者への支援の実施

- 保護者への子育てや子どもの発達の専門的知見の情報提供
- 保護者と子どもの育ちや学びについての情報交換
- 保護者の幼児教育への参加と保護者間の交流の促進

### 研修内容

- ふるまい推進員などを活用した家庭等における子育てへの支援
- 幼児教育関係者や保護者などへのアンケート実施、アンケート結果に基づく家庭における子育てについての情報発信
- 子育ての相談機関などの紹介



地域、保護者と連携して、子どもが自ら健康な生活を送ろうとする資質・能力を育成しています。



# 5

## 基本的生活習慣の形成



### 求められる教育・保育

子どもが必要感を持って基本的生活習慣を身に付けるため、自立心と自律性を保護者とともに育成する教育・保育活動の実施

- 子どもが満足感が得られるような保育者の関わり
- 基本的生活習慣を行う際の心地よさと必要なきまりや行動があることに気付かせるための援助
- 基本的生活習慣の適切な形成を図るために保育者と保護者との連携

### 研修内容

- 子どもを尊重し、支えながら、基本的生活習慣を形成する手法についての研修の実施
- 基本的生活習慣の形成についての専門機関の紹介



離乳食当初のきめ細やかな支援により、自分で食べることの楽しさを味わわせることができます。

# 6

## 安全管理



### 求められる教育・保育

安全が確保され、安心して活動ができる環境を提供し、子どもが安心して自発的な活動ができる教育・保育

- 幼児教育施設内の安全管理体制の構築、設備などの定期的な安全点検
- 子どもの自発性を阻害しない安全を考慮した環境の設定などの工夫
- 安全管理に関する研修や訓練の計画的な実施と専門機関との連携

### 研修内容

- 子どもの発達や活動を踏まえた環境整備についての研修の実施
- 県、市町村の幼児教育の安全管理担当、消防署などの地域の専門機関との連携



保育者全員での安全管理体制の構築のほか、地域や近隣の学校との連携を図っています。





子どもは、親しい大人に認められるなど情緒的な感情に支えられながら、周囲の人や物に好奇心を抱き関わっていこうとします。

また、発見や試行錯誤を繰り返しながら、粘り強く取り組む力や友達と協力しようとする心を育んでいきます。

特に、幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要な時期であり、親しい大人に認められたり励まされたり、また様々な体験をすることにより子どもの発達は一層促進されます。

次代を担う子どもは、社会の希望であり、地域の未来をつくる宝であります。子ども達一人一人の健全な成長が、県民の幸せ、島根の活力につながるものと考えます。

本プログラムは、県民のみなさまに幼児教育の重要性や本県の取組について御理解いただき、一緒に取り組んでいただきたいと考え策定しました。

どうぞ、未来の島根を創る人となる子どもの育成を一緒に取り組んでいただきますよう、お願ひいたします。



担当

## 島根県幼児教育センター

島根県松江市殿町1番地

島根県教育庁教育指導課地域教育推進室内  
TEL 0852-22-6867 FAX 0852-22-6026

島根県教育庁教育指導課内HPに全文を掲載しています。

島根県幼児教育センター

検索

はまだっ子共育は、子どもたちに身に付けさせたい力について、地域、学校、家庭（保護者）が共有しながら取り組みます。

## はまだっ子共育で目指す 子どもたちに身に付けさせたい力

ふるさとを愛し、自分を高め、  
周りとつながり、自分に自信を持つ。

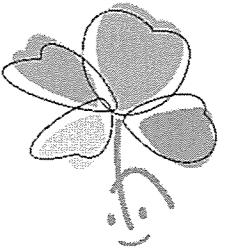
ふるさとを愛し	郷土愛	・ふるさとの良さを味わい、豊かな感性を身に付ける。	ふるさと愛 地域貢献
		・ふるさとを愛し、誇りに思う。	
		・地域の良さを知り、他者に伝える。	
		・地域にとけこみ、大人と活動を共にする。	
		・地域に貢献できることを考え、行動しようとする。	
自分を高め	向上心	・自分で考える。自分で決める。	思考力・判断力 表現力・発信力・行動力 集中力・持続力・適応力 主体性・探求心・情熱
		・他者の話をよく聞き、自分の考えと比べる。	
		・自分の考えを積極的に伝える。	
		・集中する。粘り強く続ける。しなやかに対応する。	
		・主体的に課題を見つける。前向きに目標を設定する。	
周りとつながり	連帯感	・他者を共感的に深く思う。	共感性・思いやり 協調性・コミュニケーション力 地域力・あいさつ 人権尊重・感謝・敬意 大切な命・豊かな愛情
		・他者と協力し、良好な人間関係を築く。	
		・周りの人に、自分から声掛けやあいさつをする。	
		・お互いを尊重する。感謝の気持ちを伝える。	
		・命を大切にする。人や動植物に優しくする。	
自分に自信を持つ	自尊心	・自分の良さを受け止め、自分を大切にする。	自尊感情 自己肯定感 自己有用感 自己理解・メタ認知 自主性・自己抑制
		・自分のことを認め肯定する。	
		・自分が周りの人に役立っていると感じる。	
		・自分を客観的に見る。	
		・自らの考えで行動し、自分をコントロールする。	

この「子どもたちに身に付けさせたい力」については、これまでの研修会やフォーラムにおいて、専門的な指導助言を受けながら、「はまだっ子共育」に関わる多様な関係者が意見交換した成果を整理したものです。

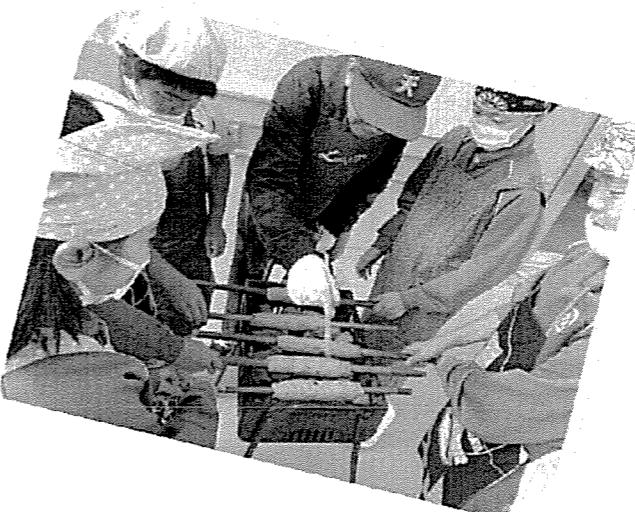
汎用性(広く利用できる)を考慮していますので、「はまだっ子共育」の様々な活動においては、子どもたちの実態や状況に応じて、焦点化や重点化した上で、地域、学校、家庭（保護者）が共有しながら取り組むようにします。

# ともいく はまだっ子共育推進事業

令和元年度～



地域ぐるみで子どもを育み、  
子どもも大人も、そして地域も高まり合おう！



## ともいく はまだっ子共育の目的

学校、家庭、地域社会が協働することによって、地域ぐるみで子どもを育み、子どもも大人も共に高まり合い、魅力あふれる地域を創生する。

### ◆◆◆ はまだっ子共育運営委員会 ◆◆◆

○はまだっ子共育事業の全体的な推進状況、実績、成果、課題を把握、整理し、事業の効果的な実施に資する。

○はまだっ子共育推進事業に関わる研修を計画し実施する。

#### 構成員（委員）

- 【推進者】・統括的な地域学校協働活動推進員 ・各中学校区エリアコーディネーター
- 【代表者】・小学校長会 ・中学校長会 ・幼稚園長会 ・小中学校PTA連合会  
・県立高等学校支援連絡協議会 ・公民館連絡協議会 ・社会教育委員の会
- 【関係者】・保育所（園）、認定こども園 ・放課後児童クラブ ・放課後子ども教室  
・社会福祉協議会 ・学校教育課 ・子育て支援課 ・まちづくり推進課

### はまだっ子共育運営委員会事務局

浜田市教育委員会生涯学習課 電話 (0855) 25-9720

## 地域学校協働活動

幅広い地域住民や企業・団体等の参画を得て、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を推進する。

## 家庭教育支援活動

全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、学習機会の提供や、相談対応を行うなどの家庭教育支援活動を社会全体で広く推進する。

### 地域学校協働本部・地域学校協働会議

地域学校協働活動は、中学校区毎のネットワークの充実を図りながら推進する。このネットワークを地域学校協働本部と称して、地域の実状に応じて整備する。

#### 地域学校協働 プログラム

地域住民の学びと、学校教育として行われる主体的な学びが協働的につながる活動をプログラム化する。



#### 学校支援 ふるさと郷育

地域住民による学校教育活動の支援、学校と地域が連携して取り組むふるさと教育を推進する。



#### 地域学習支援 勉強の場所づくり

公民館などにおいて、支援や配慮が必要な小・中学生や高校生の「勉強の場所」をつくる。



#### 放課後 子ども教室

放課後や休日において、全ての子どもたちの居場所を確保し、学習や体験・交流活動の機会を提供する。



#### 地域の拠点施設 (公民館)



#### HOOP! 浜田親子共育応援プログラム

家庭教育に関する学習機会、親同士の交流を図るために、HOOP! 浜田親子共育応援プログラムを拡充する。



#### 家庭教育支援活動 の推進者の養成

地域の多様な人材に、家庭教育支援活動への参画を促し、家庭教育支援活動の推進者を養成する。



#### 家庭教育支援 チームの組織化

家庭教育支援チームを組織化し、様々な家庭の状況に応じて、情報提供や相談対応を実施する。

#### 地域ぐるみの 家庭教育支援

親子や三世代での参加型行事や体験活動等のプログラムを開発するとともに、親世代の参画を促す。



### ふるさと郷育

子どもも大人も、ふるさとへの理解と愛着を深めようとする学びや取組を通して、ふるさとに誇りと夢を持ち、郷土を愛する人を育む。

#### 学校における「ふるさと郷育」

- ふるさと教育推進事業
- 自然体験活動推進事業
- 人物読本「ふるさとの50人」の活用
- 海洋教育推進事業

#### 地域ぐるみの「ふるさと郷育」

- 公民館を核としたふるさと郷育推進事業
- 中山間地域ふるさと郷育推進事業



### 高校・県立学校・大学等との連携協働

地域とともにある高校の魅力化、教育の魅力化を推進する。  
県立の特別支援学校と連携・協働を推進する。

県立大学地域連携推進センターとの連携、協働を推進する。

【教育の魅力化とは】 島根県が目指す「教育の魅力化」とは、島根の子どもたち一人一人に、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むため、学校と地域社会がその目標を共有し、協働を図りながら、島根の教育をよりよいものに高めていくことである。これは、「はまだっ子共育」の理念と共通するものである。